

乳腺外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「乳癌に対するエリブリンの使用症例の検討」 への協力をお願い

乳腺外科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2014 年 7 月 1 日から 2024 年 7 月 31 日までの間で、当院で手術不能または転移再発乳癌に対しエリブリンを少なくとも 1 回投与された方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～ 2026 年 5 月 31 日

研究目的・利用方法：

エリブリンは、日本で開発された抗がん剤で、2011 年から乳がんの治療に使われています。もともとは、がん細胞の「分裂」を止めることで効果を発揮する薬ですが、最近の研究ではそれ以外にもいくつかの働きがあることがわかってきました。

例えば、エリブリンには次のような作用があると考えられています。

- 免疫の力を引き出す：がんが免疫から隠れようとするのを防ぎ、体の免疫ががんと戦いやすくします。
- 血流をよくする：がんの周りの血管を整えて、薬や免疫細胞が届きやすくします。
- がんの広がりを抑える：がん細胞が体の中を移動・転移しにくくなるように働きます。
- しぶといがん細胞を減らす：再発しやすい「がん幹細胞」を減らす効果も期待されています。

そこで当院で使用された方の情報を用いてその結果が実際に見られるのかを検討し、より有効な使い方を検討するために本研究を行います。

研究に用いる試料・情報の項目：

以下の項目について、診療録から取得します。これらはいずれも日常診療によって得られた項目です。

- 患者情報：年齢、身長、体重
- 治療経過：初回診断日、組織型、サブタイプ（エストロゲン受容体（ER）、プロゲステロン受容体（PgR）、ヒト上皮成長因子受容体 2 型（HER2）、Ki67）、ステージ、周術期治療情報（手術の有無、術前治療内容、手術日、術式、術後治療内容）、再発日、転移臓器、再発後治療歴（エリブリンを含む各治療薬とそれぞれの開始日、放射線治療・手術の有無）、死亡日

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2025 年 7 月 4 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 消化器外科 職名：臨床講師・助教
氏名：中神 光

連絡先

〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1 岐阜大学医学部附属病院
消化器外科（乳腺外科）
担当：中神 光 Tel：058-230-6231
Tel：058-230-6000（夜間・休日）

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp